

安倍「働き方改革」は危険

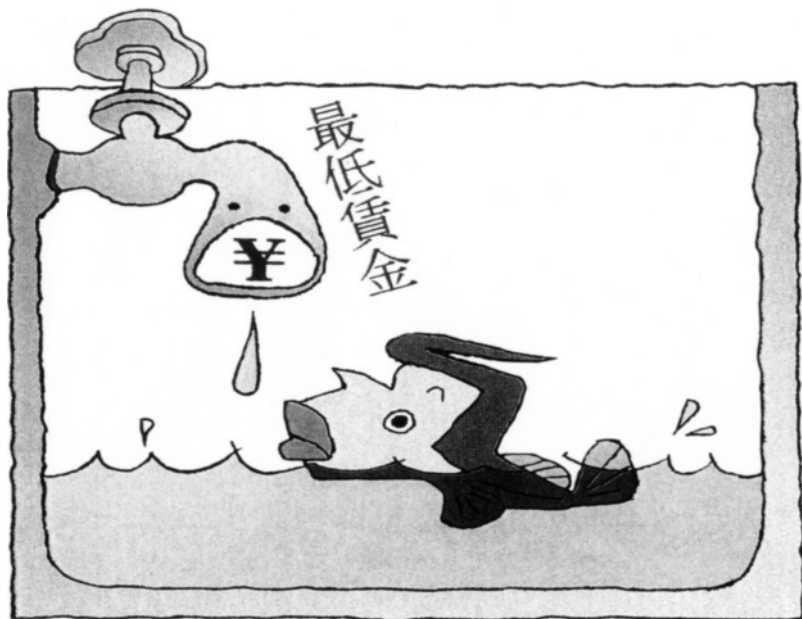
不安定雇用の拡大

金さえ払えば解雇自由に

過労死は自己責任に

安倍「働き方改革」にだまされるな！

安倍政権は、「残業時間の上限規制」、「同一労働・同一賃金」などを検討すると改革姿勢をアピールしていますが、労働法制・労働市場規制・生活保障システムを根底から変質・解体する、労働者保護法制の破壊を断行しようとしています。安倍政権の雇用政策は、これまでもこれからも、定額働かせ放題、首切り自由化、労政審解体など危険な改悪メニューが目白押しです。



- 労働時間規制の適用除外・裁量労働制の拡大(労働基準法)
- 生涯派遣の拡大(労働者派遣法)
- 人材ビジネスの事業拡大(雇用仲介事業の在り方見直し・派遣法・職安法・能力開発促進法など)
- 不当解雇でも金銭解決・首切り自由化⇨労働組合崩壊(労働契約法)
- 外国人労働者導入・白タク合法化(国家戦略特区法)
- 外国人労働者の受け入れ拡大(外国人技能実習法・入国管理法)
- 高齢者の低賃金不安定雇用労働者化(高齢者雇用安定法・雇用保険法)
- テレワーク、請負労働の増加に対応した法見直し

等々、人材不足対策は、女性・高齢者・外国人労働者の活用で、医療・介護・年金・生活保護など社会保障制度の改悪は、「生きるために劣悪な条件でも働かざるを得ない人」を増やすことになり

ます。今臨時国会は、九月二十六日から十一月三十日。おもな議案は、経済活性化策を盛り込む二〇一六年度第二次補正予算案、TPP関連法案、消費税増税二年半再延長法案、そして、外国人技能実習法案、労働基準法案、年金法案などです。

外国人技能実習法は、衆院法務委員会ですら審議入りが目論まれており、参院が勝負となる。労働基準法は、審議入り？先送りして、検討中の残業上限規制などの施策と抱き合わせか？

労働基準法改悪案は廃案！

労働時間法制の規制強化を！

